

ふれあい

FUREAI vol. 213 2025 [春号]

社会医療法人 仁愛会 広報誌

特集
ドクターへリ

一秒でも早く、命のために
ドクターへリの現場から

Doctor Heli

特集 ドクターへリ

一秒でも早く、命のために —— ドクターへリの現場から

当院では、ドクターへリの前身となる、浦添総合病院の救急ヘリ搬送システム U-PITS（ユーピツ／Urasoe-Patient Immediate Transport System）の運航実績が認められ、2008年12月から沖縄県ドクターへリの運用を担っています。

ドクターへリの一番の目的は「早期医療介入」です。これまで病院に搬送されて来た時点から行われていた救急診療を、現場に出向いた医師と看護師により、現場で開始することで「生命予後」「機能予後」を改善します。また、現場から発する医療情報を搬送先の医師に共有することで、病院搬入後の治療方針が迅速に立てられ、手術などの治療を完了するまでの時間が大きく短縮されます。

さらに、島嶼県である沖縄では、離島やへき地からの迅速な医療搬送を行うためのツールとしての役割も大きく、地理的要件による地域間の医療格差を少しでも縮める効果が期待されます。ドクターへリの要請は基本的に消防機関を介して行われ、現場近くの決められた地点に着陸し活動を行います。ドクターへリの着陸には一定以上の広さが必要となるため、周辺の皆さまにはご迷惑をお掛けするかと思います。

また病院周辺の住民の皆さまにおかれましては、ドクターへリの発着時の騒音などでご負担をお掛けしておりますが、かけがえのない命を救うために活動する、私たちドクターへリへのご理解とご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

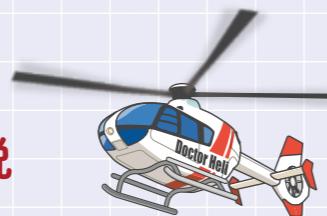
機体 | AW109SP

全長	12.96m	全高	3.4m
最大航続距離	727km	最大航続時間	3 時間 39 分
乗員人数	操縦士1人 整備士1人 ライトドクター1人（又は複数人） ライトナース1人（又は2人） 患者1~2人 その他1人		



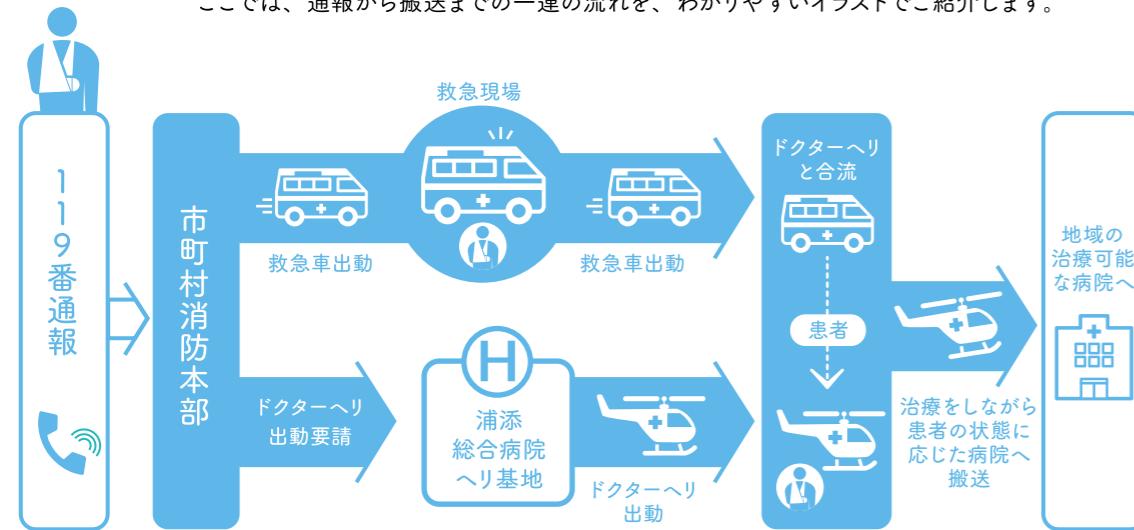
ドクターへリの疑問に答えます！

現場の仕組みを Q & A で解説

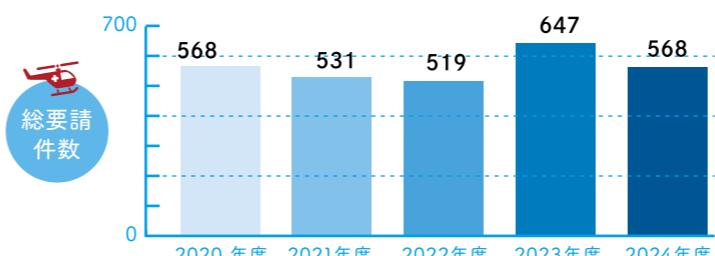


Q1 // 通報から患者搬送までの流れは？

いざという時、ドクターへリはどのようにして現場へ向かい、患者さんを搬送しているでしょうか？ここでは、通報から搬送までの一連の流れを、わかりやすいイラストでご紹介します。



Q2 // ドクターへリの出動件数はどのくらい？

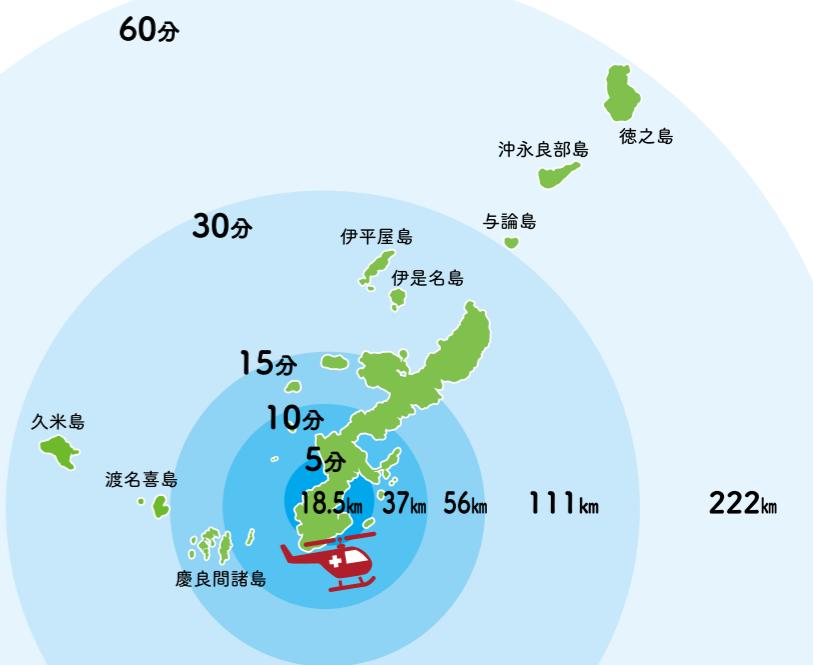


Q3 // ドクターへリの運航時間は？

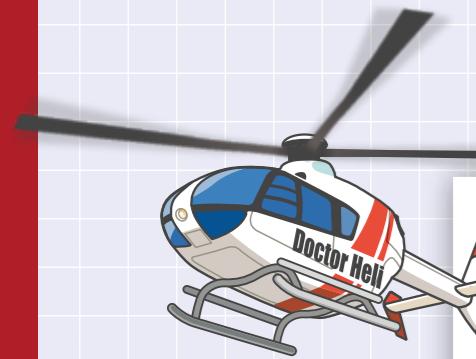
ドクターへリは365日毎日運航しています。出動時間は午前8時半～日没前までと定められており、夜間に活動することはできません。

Q4 // ドクターへリはどこまで飛べるの？

通常、基地病院を中心とした半径50km～70km圏内が対応エリアですが、広域搬送が必要な場合は他の県との連携も可能です。天候や時間帯にも影響されるため、安全第一で運航されています。



ドクターへリに欠かせない プロフェッショナル



命をつなぐ空の指揮官！
短い時間で
より安心してもらえるように



フライトドクター
Flight Doctor

救命救急センター長
米盛 輝武

ドクターへリのクルー（乗組員）はパイロット、整備士、フライトドクター（医師）、フライトナース（看護師）の4人で構成されています。ここで医療活動のリーダーとなるのがフライトドクターです。通常、ドクターへリは屋上ヘリポートに待機しており、出動時以外の時間、医師は院内で通常の診療業務を行っています。要請のホットラインが鳴ると、フライトドクターは一緒に活動するフライトナースと共に屋上ヘリポートに上がり、簡単な情報共有の上で離陸し現場へ向かいます。ここで重要なのが無線を用いた現場救急隊などの情報共有です。救急隊からの情報共有を受け、現場での活動方針を立てながら現場へ向かいます。現場では消防機関の指揮下において、診療を行うとともに、医療者側のコマンダーとして消防側と連携し現場活動を展開します。このようにフライトドクターは医療行為を行うだけでなく、現場活動における連携を円滑に進める「ハブ」としての役割も担っています。



フライトナース
Flight Nurse

救命救急
新垣 拓也

フライトナースとして心掛けていることは、患者さん・家族を安心させられるような関わりです。救急現場で医師や救急隊等と協働して迅速に検査・処置を行うこともフライトナースとしての役割ですが、救急現場における患者さんやその家族さんは急な出来事で動搖が強いため、その方々に関われる短い時間でより安心してもらえるよう、看護師として関わることを心掛けています。ヘリ機内でのコミュニケーションは難しいですが、ジェスチャーやホワイトボード等を活用して症状の変化が無いかを確認したり、搬送時間を伝えることで安心してもらえるよう心掛けています。



パイロット
Pilot

鹿児島国際航空株式会社
青 英樹

ドクターへリの機長として出動要請を受けたら、迅速かつ最短でドクターとナースを救急現場等に送り届けています。いつも心掛けていることは安全確実をモットーにクルーやCS（運航管理）と意思疎通を図っていることです。

運航するにあたって特に難しいと感じているのは飛行が可能かどうかの気象判断です。待機をしている事務所で気象情報を収集し、情報共有を図りながら救急現場等の往復が可能かどうかを明確に伝えるようにしています。時として天候判断を悩む時もありますが慎重な判断を出来ることが安全運航につながっていると思います。

ドクターへリに従事して7年目を迎えますが今後も安全確実な運航を心掛けていきます。



CS(運航管理)
Communication Specialist

鹿児島国際航空株式会社
齊藤 和仁

運航管理は、ドクターへリ出動要請の窓口であり消防や医療機関との調整役です。また、気象情報の取り集めやドクターへリが着陸するランデブーポイントの使用調整、フライトプラン関連、那覇空港や在沖米軍とも調整をしています。

CS（運航管理）として心掛けていることは「勝手に判断しない事」。ドクターへリ業務は搭乗するドクター、ナース、運航クルー、消防や関係医療機関との連携の上に成り立っています。航空機の運航にかかる判断はパイロットが、医療上の判断は医療スタッフが行いますが運航管理から間違った情報を与えないよう必要な情報を正確・簡潔・速やかに伝達することを心掛けています。



整備士
Mechanic

鹿児島国際航空株式会社
城間 嶅太

ドクターへリの整備士の業務として、飛行中は外部の監視（接近する航空機や鳥等）や安全に着陸するための地上との無線交信、不具合が出た時の対応などパイロットとコミュニケーションを取りながら安全運航に取り組んでいます。また機体を常に飛行可能な状態に維持しないといけないため、日頃から念入りに整備点検をし、ドクターへリの業務に支障が出ないよう努めています。





～未来の医療人を目指す高校生が集合！～

OPEN HOSPITAL 2025

2025年3月22日(土)、「オープンホスピタル」を開催！

沖縄県内の高校生を対象に、病院のさまざまな仕事を見て・聞いて・体験できるイベント「オープンホスピタル」を開催しました。

当日は、県内（離島を含む）20校から130人の高校生が参加！ 参加者の皆さんには、医師や看護師など8つの医療職の体験ブースの中から、興味のある3つを選んで体験していただきました。実際に病院で働くスタッフとふれあいながら、医療機器に触れたり、現場の雰囲気を感じたりと、貴重な体験の連続でした。病院では、さまざまな職種が力を合わせて治療にあたる「チーム医療」が行われています。今回の体験を通じて、その連携の大切さや医療の魅力を知ってもらえたならうれしく思います。

このイベントが、医療に興味を持つきっかけとなり、いつか皆さんと医療の現場でお会いできる日を楽しみにしています！



1 医師

命と向き合う 医療の最前線！

手術室でガウンに着替え、手袋を装着して、電気メスの疑似体験を行いました。現役医師から、医師を目指したきっかけや仕事のやりがいについてのお話もあり、医療の現場をよりリアルに感じられる時間となりました。



2 看護師

“患者さんに寄り添う ケア”を体感！

点滴セットの作成、血圧測定など、日々の看護業務を体験。また、ベッドでのケア体験では、患者さんの安全や快適さに配慮する看護の心にも触れもらいました。



3 薬剤師

正確さがカギ！ 命を守る薬のプロ

お菓子を薬に見立てて分包作業にチャレンジ！さらに、注射薬の混注業務や、お薬とお茶を混ぜて体内での変化を観察する体験も行い、薬剤師の繊細で重要な仕事を学んでもらいました。



4 診療放射線技師

“画像で診る”医療の スペシャリスト！

レントゲン・CT・MRIの機械を見学し、機器のしくみや役割を学びました。また、魚（イラブチャー）のCT画像を使った画像処理体験では、放射線技師の専門技術に触れてもらいました。



5 臨床検査技師

“からだの中”を調べて 支える検査のプロ！

ベッドに横たわる模擬患者を使って、エコー（超音波）検査の体験を実施。また、本物の臓器標本を使ったクイズにも挑戦し、からだの構造や検査の奥深さに触れてもらいました。



6 管理栄養士

“食”から支える 医療のチカラ！

管理栄養士の仕事について学んだあと、実際に献立作成にもチャレンジ！栄養バランスや患者さんの病状に合わせた食事の大切さを体験を通して学びました。



7 リハビリ

動き・暮らし・話す力と 嚥下を支えるプロ！

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のそれぞれの役割について説明を行い、実際にリハビリ器具に触れたり、とろみ食などを体験してもらいました。



8 臨床工学生

命を支える医療機器の スペシャリスト！

人工心肺装置・人工呼吸器・透析装置など、実際に病院で使われている医療機器に触れ、動かしながらその仕組みや役割を学んでもらいました。



実際に医療機器を 触って、体験！



病院長による レクチャーも！

ドクター気分でハイ、チーズ！
電気メス体験の後は手術室で
みんな揃って記念撮影



地域とつながる みんなと広場

~健康・交流・笑顔あふれる一日~

2025年3月17日(月)、介護老人保健施設アルカディアにて地域包括支援センターみなんと広場を開催しました。

日頃より地域の方々から「病院引っ越ししてから、どうなっているの?」などの声もあったことから、ぜひ地域の方を招いてのイベントを開催したい!と思い、同法人の専門職、地域の事業者等の協力をもらい実現しました。

当日は健康チェック、体力測定、トルト撮影、予防体操(ヨガ、チエアクササイズ)、健康相談、施設見学ツアー、認知症カフェを設けて、来場者からは「相談もできてよかった」「施設見学できてよかった」などうれしい声も聞かれ、来場者の楽しそうな笑顔に私たちもうれしくなりました。これからも地域のニーズに合わせたイベントなどを企画していきたいと思います。



健康チェック

看護師による血圧や体温、脈拍の測定を通して、日頃の体調を確認できるコーナー。参加者からは「自分の健康状態を見直すきっかけになった」と好評でした。



トルト撮影

最新の姿勢分析システム「トルト」を使用し、写真撮影で姿勢のバランスを可視化。自分では気づきにくい体のゆがみを知ることができ、参加者も興味津々でした。



予防体操

椅子に座ったまま無理なくできる体操で、ヨガの呼吸法やゆったりした動きが好評。高齢者も安心して参加でき、リラックスしながら筋力や柔軟性の維持を目指せる時間となりました。



体力測定

握力測定やバランステストなど、簡単な項目で自分の現在の体力を確認。結果はその場でお渡しし、目標設定や運動習慣づくりの参考にしていただきました。

港川中学校区住民それぞれが誰一人取り残されることなく活躍し、元気ある地域を目指す!

地域包括支援センター みなんと

地域包括支援センターとは

高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が続けられるように、健康、介護、福祉等のさまざまな面から、総合的な支援を行うために設置された相談支援機関です。

保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域の住民を包括的に支援します。



主な支援内容

▶ 総合相談支援業務

住民の各種相談を幅広く受け、行政機関、保健所、医療機関、児童相談所などと連携して必要なサービスにつなぎます。



▶ 権利擁護業務

成年後見人制度の活用の促進、高齢者虐待への防止、早期発見、対応などに取り組みます。

▶ 介護予防ケアマネジメント

要支援・要介護状態になる可能性のある方に対する介護予防ケアプランなどを作成して、効果を評価します。

▶ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域ケア会議等を通じた自立支援型ケアマネジメントの支援、ケアマネジャーへの日常的個別指導・相談、支援困難事例等への指導・助言などを行います。

▶ 認知症に関する事業

認知症の方やご家族等に対する相談支援や地域における支援体制を構築するとともに医療・介護等の有機的な連携を推進することを目的として、認知症地域支援推進員が配置されています。

▶ 生活基盤整備事業

高齢者が暮らしやすい地域づくりの推進役として、地域住民や民間企業等、さまざまな人や団体とつながりながら支え合いの体制づくりへの支援をするため、生活支援コーディネーターが配置されています。

“みなんと”ならではの取り組み

マチナト がんじゅうフェア

地域の企業、事業所等と協働で毎年1回開催される健康と福祉のフェアです



コープ出張相談会

毎月15日(土日祝日にあたるときは、その前に開催)にコープ牧港で出張相談会を開催中。血管年齢、血圧測定、介護に関する相談などもできます。



認知症 サポーター養成講座

地域の学校や企業等へ出向き、講座を開催しています。



世界アルツハイマー デーライトアップイベント

毎年9月21日は世界アルツハイマーデーで港川校区の企業、事業所、学校等と協働でイベントを行っています。

お問い合わせ 地域包括支援センターみなんと ☎ 098-876-3710

担当地区 港川中学校区



浦添総合病院では 2人主治医制 を推進しています

「2人主治医制」とは、ひとりの患者さんに対し、当病院の医師と地域のかかりつけ医が連携し、共同で継続的な治療を行うことです。紹介状を通して、患者さんの診察状況を共有します。



連携医療機関のご案内

当院では、地域のかかりつけ医である連携医療機関の先生方と共同して、切れ目のない医療の提供を目指しています。

今回は沖縄県内各地の連携医療機関の中から「ブルーペンギン胃腸内科クリニック」をご紹介します。

ブルーペンギン胃腸内科クリニック

TEL: 098-893-5511 FAX: 098-893-5550
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-29-1

《診療科目》 内科・消化器内科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:30~11:30	○	○	○	○	○	○	/
午後の部 13:30~17:00	○	○	○	/	○	○	/

休診日:木曜日午後、日曜、祝日

外観

案内図

院長 内間庸文先生

令和7年1月に子を守るコウテイペンギンの子育てのように優しく包み込むような医療を目指してブルーペンギン胃腸内科クリニック(旧おやかわクリニック)を開院いたしました。生活習慣の管理はもとより、専門性を生かした消化器内視鏡診療にも力を入れ、地域の基幹病院やクリニックの皆様と連携しながら、胃がん大腸がんの早期発見・早期治療に全力で取り組んでまいります。

当院では、地域医療支援病院としての機能やサービス内容、特色などを地域へ発信し、各連携医療機関とのシステムづくりを行っています。

連携医療機関は
こちらからご覧ください



ON AIR 今夜はラジオで健康チャージ!

～あなたと家族に役立つ医療と暮らしのヒント～

虹のかけはし

かなめとふみの
マンマのトーク

毎月第2木曜日 19:00~20:00

第2・4・5火曜日 20:00~21:00

当院の医師や看護師が、日常診療や地域医療連携に関する情報、健康維持に役立つヒントをわかりやすくお届けします。普段の生活にすぐに取り入れられる内容で、あなたやご家族の健康づくりをサポート。身近な疑問や不安解消にぜひお役立てください！

乳がんについて、当院の乳腺専門医と乳がんサバイバーがリアルな体験談や最新情報をやさしく発信します。家事や育児、運転中でも耳で気軽に学べる内容で、忙しい女性に寄り添う番組です。大切な自分のために、まずは“聞くこと”から始めませんか？

FM21 76.8MHz にて放送中！

こちらからお聞きになります

サイマルラジオ YouTube

My自治会

地域をつなぐ
My自治会

今日は経塚自治会の取り組みを紹介

経塚自治会

自治会の活動

5月	クリーンデイ地域清掃
6月	自治会グラウンドゴルフ大会
8月	納涼盆踊り
9月	敬老会
11月	ウマーチヌウガ
12月	イルミネーション
2月	ふれあいまつり

会長 大田 朝健

ちょーじか結いまーる市場の様子

自治会の特徴

当自治会はモノレールの延伸に伴い、交通の利便性など急速な発展を遂げています。自治会創設109年。古き良き伝統と現代的な感覚を兼ね備え、外部からの流入者との融合も進んでおり、魅力ある地域づくりを推進し活性化を図っています。

地域の歴史・文化

500年前に日秀上人がお経を小石に書きして埋め、「妖怪」退治し、この地が地震鎮めと伝わり、地震の時「チョーチカチカ」と唱えるようになりました。てだこ祭りに「経塚金鼓隊」毎年出演。旧暦の10月1日にウマーチヌウガ（祈願祭）を実施し、無病息災などを祈願します。クリスマスシーズンにはイルミネーションが20年にわたって行われています。

健康づくりの取り組み

自治会・児童センター・地域包括支援センター・さとん・社会福祉協議会4者が合同で開催する、毎月1回のちょーじか結いまーる市場で健康体操、健康相談、生活困窮者への野菜や食品の提供、社会的弱者の居場所となっています。

仁愛会の理念

- ・地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉
- ・働き甲斐のある職場
- ・信頼と人間性豊かな保健・医療・福祉
- ・仁愛会の職員であることが誇れる企業



浦添総合病院

〒901-2102 浦添市前田一丁目56番1号

TEL:050-1721-8524 (AI予約)

TEL:0120-979-706 (予約センター)

TEL:098-878-0231 (代表)



浦添総合病院健診センター

〒901-2132 浦添市伊祖三丁目42番15号

TEL:0570-010-986



在宅総合センター

〒901-2132 浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL:098-879-1000 (代表)

●介護老人保健施設アルカディア

●訪問リハビリテーションアルカディア

TEL:098-879-1000
(上記2事業所共通)

●アルカディア通所リハビリテーション

TEL:098-878-1675

●ヘルパーステーションらくだ

TEL:098-870-1026

●浦添市地域包括支援センターみなん

TEL:098-876-3710

●浦添市地域包括支援センターさっとん

TEL:098-877-3103

●ことぶき指定居宅介護支援事業所

TEL:098-875-4165

●つるかめ訪問看護ステーション

TEL:098-877-0645

●浦添市事業所内保育事業認可保育園 もこもこ保育園 TEL:098-875-7171

